

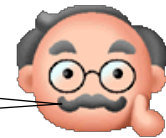
生徒指導の3つの機能を生かした授業改善について②

～令和元年度（2019年度）留萌管内教育推進の重点～

毎日の授業準備、実践、改善、また実践…と授業改善に向けてのPDCAのサイクルをうまくまわして、子どもたちが「あっ」と驚くような授業、「おー！」と唸らせるような授業など、子どもたちの琴線に触れるような授業を実践したいものです。

しかし、その前提として、子どもたちが安心して授業を受けることができるようにするためには、生徒指導の機能を生かした授業を実践することが重要であり、そのために「自己点検カード」などを活用し客観的に自分の授業をチェックすることが大切です。

生徒指導の3つの機能を授業で生かすための「自己点検カード」を活用し、授業改善に生かしてみませんか。



確か3つの機能って...①自己決定、②自己存在感、③共感的人間関係でしたね。授業ではどのような場面でどのような働きかけをするのかな？

授業に生徒指導の3つの機能を生かすための教師の自己点検カード		<input checked="" type="checkbox"/>	
自己決定	1	ゴールを明確化し、学習の見通しをもたせる	
	2	自分の考えをもつ場、思考する場を設定する	
	3	自分の考えを書く場を設定する	
	4	自分の考えを伝える場を設定する	
	5	思考を揺さぶる発問、「開かれた質問」「閉ざされた質問」などを工夫する	
	6	振り返りや次の学習を考える場、学んだことを生かす場を設定する	
自己存在感	1	分かる・できる授業を工夫する	
	2	「よくできたね」「がんばっているね」等の褒める、励ます、認める等の言葉をかける	
	3	考えを交流し、お互いの考えの違いに気付かせる	
	4	自分の考えの理由や根拠を明確にさせる	
	5	欠点の指摘でなく、よい点を具体的に指摘する	
共感的人間関係	1	よい言葉を褒め、好ましくない言動は正す	
	2	間違った応答に対して、冷やかしたり笑ったりしないように指導する	
	3	友達の意見にうなずいたり、拍手したりするように促す	
	4	教師主導にならず、子どもの思いに沿った授業をする	
	5	相互評価を取り入れ、お互いのよさを認め合えるようにする	
	6	発言をつなげ、集団での学び合いとなるようにする	
	7	ちょっとしたつぶやきを大切に、取り上げる	
共通	3つの機能のねらいに応じて、ペア学習・グループ学習を取り入れる		

(参考「教育相談 基礎の基礎」嶋崎政男 2001年)



「自己点検カード」を活用して、子どもたちが「今日の授業はよく分かった。」
「今日の授業を受けてよかった」「明日もがんばるぞ!」というような自己存在感や自己有用感を味わい、その結果として自己肯定感を高めるような授業を展開していきましょう。